

宮の沢町内会加入世帯数

1,677世帯

2021年1月現在



★お問合せ・ご意見・ご要望は……
総務部：松井近裕 ☎011-664-5016
岡田衆一 ☎011-661-1810
発行：宮の沢町内会
札幌市西区宮の沢二条6丁目1-28
作成：総務部
www.miyanosawa-chounaikai.com

2/21 感染症対策の避難所開設と町内会役員役割り・行動確認実施

2月21日、感染症対策による避難所設営と動作確認の避難訓練が行われました。この訓練は消防庁の補助金で札幌市が主催し、宮の沢町内会が実施団体として 計画運営されました。



西区・町内会・医療・消防団・小学校など関係機関が一体となって取り組み

新型コロナ感染拡大がなかなか治まらない中で、当初計画していた宮の沢町内会の避難訓練は、大幅に人員を縮小し役員と少数の関係者で実施しました。この避難訓練は、消防庁の「自主防災組織等連携促進事業」の補助金の対象となり、宮の沢町内会の活動が、先進的事例として全国自治体などに紹介されることとなります。

今回の避難訓練の目的は

- 避難所となる手稲宮丘小学校の機能や設備を知ること
 - 避難所開設の初動期の流れを体感的に知ること
 - 避難所開設初動期に、札幌市、学校と我々町内会ができることを知ること
- 準備の多くは札幌市西区総務企画課、保健福祉課、危機対策室等が行ない、手稲宮丘小体育館では「密」にならないように、相互の間隔を取り、感染症対策のコンサルタントの指導により避難所開設の基本的な事項を学び、「石狩中部でマグニチュード7.3 震度7の地震発生」を想定して地域住民が手稲宮丘小に集まり始め市職員や学校関係者がまだ到着していない状況で、私たち町内会の役員は何をするかを学びました。

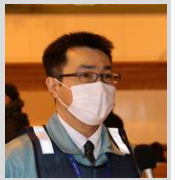
専門家指導による感染症対策に留意し避難所設営の行動分担確認

緑、オレンジ、黄色に色分けしたベストを着用し、三グループに分けて「受付の設営」「滞在スペースの設営」「感染症室の設営」を実践しました。受付時の検温、濃厚接触者や高熱、咳のある人の対応などを学び飛沫感染防止とプライバシー保護のためのテントの組立てを経験するなど盛り沢山のメニューを学ぶことができました。テント50張り、毛布、寝袋50組等は補助金で購入、常時手稲宮丘小の備蓄庫に格納し、災害時に備えることになっています。

今回の防災訓練で特筆すべきことは、災害時の広報体制の強化です。地域の医療と介護の事業所が一体となって協力体制を築き、特に社会福祉法人宏友会(手稲リハビリテーションセンター)と愛敬会・北愛館(障がい者支援施設)から提供いただいた送迎用車両に、補助金で購入したスピーカーやアンプを搭載し避難地域を巡回しながら避難の呼びかけを行います。又、自力歩行困難者を広報車に乗せて要配慮者を避難所に搬送することも、場合によっては介助を必要としている高齢者や障がい者を介護施設へと直送することも計画されています。(町内会版福祉避難所)

西区役所久我係長

このたびの訓練開催にあたり、多くの皆様のご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今後も、関係機関とより一層の連携を図りながら、継続した防災活動に取り組まれますようお願いいたします。



松村手稲宮丘小学校長

災害時におけるあらゆる支援活動の出発点は、絆です。今回の避難所開設訓練は、人の絆と組織の絆の双方を互いに強め合うための有意義な訓練でした。今後も、地域に開かれた学校としての役割を果たすよう努めてまいります。



渡邊町内会会長

避難所の開設訓練は実際の災害時に役に立つ。危機管理の意識を高めて地域住民に周知していきたい。



当日は、報道関係が多数取材に集まり、私たちの取組に関心が寄せられていました。今回の避難訓練を実施して改めて感じたことは、普段から地域内の医療と看護の事業所との連携、行政、学校、地域消防団の協力が大変重要であることを痛感した一日でした。



菅原自主防災組織委員長

無事、避難所開設訓練終わりました。コロナ禍でもあり役員主体での開催となりましたが大体の流れは理解できたと思います。改善点として、受付での混雑による密状態、指示・指揮系統のスムーズさに欠けた点です。この事からスタッフの募集と育成も課題になってきました。是非、皆様方の自主防災委員会への参加をお願いいたします。



災害時避難支援及び避難所開設訓練 に真剣に取り組む参加者のみなさん



▲避難者受付の段取りを打合せ



▲紹介された避難所備蓄品の数々



▲用途に応じた
テント各種

実際にテント内▶
に入ってみる



▲備蓄庫内テント・寝袋・シートなどの備品

キーBOXからカギを取出す手順確認▼



校内貯水槽設備を確認する▲

▼広報車での車椅子送迎



◀参加者からの声

- 受付では密になりがち。検温する人が一定数必要。
- 滞在场所への誘導には明確な指示が必要。導線の矢印を増やすべき。

2/28 スノーキャンドルナイト



2月28日、青雲公園において、スノーキャンドルナイトが行なわれました。コロナ禍の中、家に閉じこもりがちだった

子供たちも70名超が参加。午後4時半過ぎから約190個のスノーキャンドルにローソクを点灯し、5時半頃からは冬の花火を楽しみました。



一人ひとりの対策が家族を守る、
みんなを守る、地域を守る。

今年の冬は、いつもと違う、
感染拡大が続いています。引き続き注意を。

風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。
風邪症状があれば、是非外出を控えていただくようお願いします。

※写真はイメージです。

身体的距離の確保

出来るだけ2M
最低1M開ける。

マスクの着用

症状が無くても
マスクを着用する。

うがい・手洗い

外出から帰ったら
まづ手や顔を洗う。

防災特別号

1~3月
全世界に戸別配布
いたします。



1月予定の新年餅つき会及び
新年交礼会は中止となりました。

2月予定の節分豆まきは中止と
なりました。

■主な活動報告 (1月1日~2月28)

- 1/12 スマイルサロン宮の沢
- 1/16 1月役員会
- 1/22 パートナースィップ排雪説明会
- 1/29 避難訓練 西区打合せ

- 2/ 2 スマイルサロン宮の沢
- 2/ 2・3ゴミステーション貼紙
- 2/ 4~10 パートナースィップ排雪
- 2/16 医療と介護の連絡協議会
- 2/19 避難訓練最終打合せ
- 2/20 2月役員会
- 2/21 災害時避難支援及び
避難所開設訓練
- 2/28 プレーバク&スノーキャンドル

2/4~10
パートナースィップ
排雪実施しました。



※写真はイメージです。

■行事予定 (3月1日)

- 3/ 2 スマイルサロン宮の沢
- 3/20 3月役員会議